

平城京第一次太極殿



しくみ

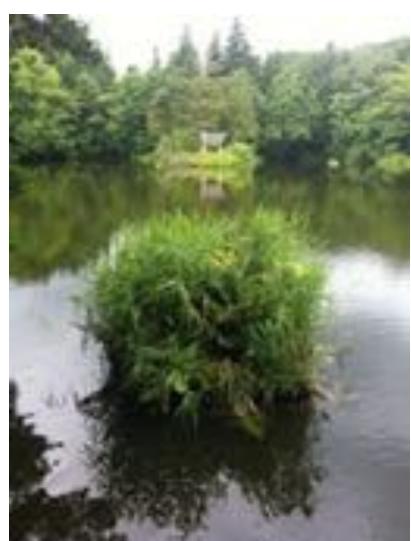
- 天橋立神社 535.63km - 大沼浮島 - 一の木大明神 535.63km
同距離 正法寺、菅原院天満宮（菅原三代邸宅）、普賢寺 535.63km
- 天橋立神社 111.31km - 平城天皇陵 - 一の木大明神 111.31km
- 天橋立神社 111.435km - 平城京第一次太極殿 - 一の木大明神 111.435km
- 天橋立神社 114.56km - 松尾寺 - 一の木大明神 114.56km
- 天橋立神社 164.69km - 箕嶋神社 - 一の木大明神 164.69km

負頂角

大沼浮島

湖畔にある大沼浮島稻荷神社（祭神/宇迦之御魂神）の神池とされ、狐の形をしている。沼には大小の葦の島が風や流れに関係なく浮遊し、江戸時代には国の数 32 あり、その動きで吉凶を占っていたとされる。沼は白竜湖とも呼ばれ弁財天が祀られている。大円寺『朝日嶽縁起』（1505 年）によると、朝日岳の麓に御手洗の「大富沼」があると記されている。

白鳳 9 年（681）役の小角（役の証覚・役の行者）が弟子の覚道を連れて出羽路に来た折、大谷川（朝日町大谷）のほとりで梵字が記された板碑が流れくるのを見つけ、川をさかのぼり、60 余りの島が浮遊する神池大沼を見つけた。湖畔に浮島稻荷大明神を祀り、弟子覚道を別当（大行院）とし朝日岳修験が行なわれた。建久 4 年（1193）には寒河江荘地頭となった大江広元の進言により源頼朝の祈願所にな



り、その後も大江家、徳川家、最上家にも祈願所として崇敬された。

国指定名勝。山形県西村山郡朝日町大沼

備考/浮島は、現在は数も減り、岸に付き動かないことが多いが、動く時は流れや風に関係なく意志があるかのように動き回り驚く。役の小角は梵字が書かれた板碑が流れてきたのを見つけたのだから、すでに大沼は異教徒の浮島信仰の地だったはず。稻荷神社の神池とされるが、元々「大富沼」が大沼なら出雲系「富一族」の祀る沼だったのだろう。大朝日岳にも大富觀音が祀られていた。元々弁財天や龍神の神池に稻荷神が祀られたのだと考えられる。あるいは、730年に「**大沼社**を南西の丘に移す」記述があるが、その時に稻荷社にすり替えられたのかもしれない。いずれにせよ、古いしくみは

ほとんどが稻荷神社ではなく大沼の鳥居の立つ「出島」（写真）が起点となっている。弁財天を祭神とする大沼浮島社（仮称）はここにあったはず。全国に散らばる浮島神社の総本宮ではないか。そして、多くの神社の神池に浮島のごとく島が作られ弁財天や市杵島姫が祀られているのも本来は分社だったのではないだろうか。池に囲まれた古墳すらも浮島に見えてくる。古代史を探る時、きっと浮島信仰は重要な鍵になるに違いない。



右脇侍角

一の木大明神

九鬼水軍一族の波切城への「一の木戸」があった名残といわれる。三重県志摩市大王町波切

左脇侍角

天橋立神社

龍伝説。真水が湧く「磯清水」。
祭神/豊受大神、大川大明神、
八大龍王 京都府宮津市文珠



助役（同距離）

普賢寺

「延喜式神明帳」に「穴師神社」が佐奈にあったことが記載され、その神社跡南に接して藤原不比等創建と伝えられる金剛座寺（本尊如意輪觀世音）があった。普賢寺はその一つ。三重県多気郡多気町神坂

正法寺

最澄が創建した天台宗寺院の靈山寺と称し、光孝天皇・宇多天皇の勅願所だった。京都市東山区清閑寺靈山町 35

菅原院天満

菅原家の邸宅。道真公生誕の地。相殿神に父是善、祖父清公を祀る。京都市上京区堀松町 408

勝頂角

松尾寺

養老 2 年（718）天武天皇の皇子舍人親王が、勅命による日本書紀編纂の折、42 歳の厄年であったため、日本書紀の無事完成と厄除けの願をかけて建立された日本最古の厄除靈場。本尊/如意輪觀音 奈良県大和郡山市山田町 683



箕嶋神社（和歌山県有田市）

祭神 水主大神、素盞鳴尊、武甕槌神、経津主神、誉田別命。境内社祇戸神社に瀬織津姫。古来より鳥の社と呼ばれ、水主神社と称したが、牛頭天皇、祇園社と変わり、明治三年より箕嶋神社と称す。

箕嶋神社

平城京第一次太極殿

710 年 3 月遷都。平城宮最大の宮殿であり、その建物は奈良時代の中頃に、一時都とした恭仁（くに）宮に移築され、山城国の国分寺金堂になった。当時、天皇の即位式や外国使節との面会など、国のもっとも重要な儀式のために使われていた。



平城天皇陵 806 年 - 809 年即位 桓武天皇の子

備考

丹後出雲族の天橋立神社と大王町の波切神社がピンポイントにならなかったが、小さな木立を航空写真地図で見つけた。電話で聞いたら一の木大明神という小さな祠があると。これは市杵すなわち市杵島姫神社ではないか。この三角形はもともとの出雲系しくみではないか。同距離には、菅原道真三代を祀る邸宅だった菅原院天満宮、光孝天皇・宇多天皇の勅願所だった正法寺がある。

十字架封印型しくみで大沼浮島を封じる勝頂角の神には、日本最古の厄除け寺の松尾寺。箕嶋神社には素盞鳴尊や国譲り勝ち組の武甕槌神、経津主神が祀られている。そして、なにより平城宮第一次大極殿、さらに平城天皇陵がある。奈良時代平城宮遷都時のしくみといえる。平城宮がなくなり必要もなくなり一の木大明神も小さくなってしまったのだろう。